

令和5年9月7日  
於  
府中市立教育センター

令和5年第9回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和5年第9回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和5年9月7日(木)

午後3時00分

閉 会 令和5年9月7日(木)

午後3時49分

2 出席者

教育長 酒 井 泰 委員 日 野 佳 昭

委員 平 原 保 委員 増 渕 達 夫

委員 山 下 和 則

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 矢ヶ崎 幸 夫 文化スポーツ部長 佐 藤 直 人

教育部副参事兼指導室長 隅 田 登志意 文化生涯学習課長 鈴 木 正 憲

教育総務課長 田 中 啓 信 文化生涯学習課長補佐 斎 藤 麻 美

教育総務課長補佐 若 山 貴 ふるさと文化財課長 江 口 桂

学校施設課長 角 倉 道 晴 ふるさと文化財課長補佐 廣 瀬 真理子

学校施設課長補佐 遠 藤 勝 久 市史編さん担当副主幹 阿 部 憲 靖

学校施設整備担当副主幹 崎 井 優 樹 スポーツタウン推進課長 目 黒 昌 大

学務保健課長 佐 伯 富 丈 スポーツタウン推進課長補佐

学務保健課長補佐 奥 恵 一 図書館長 塚 本 淳

給食センター所長 谷 本 耕 一 図書館長補佐 大 沢 力

給食センター副所長 桐 生 光 章 美術館副館長 田 口 宏 治

教育支援担当主幹 菅 原 尚 志 美術館副館長補佐 鎌 田 享

教育指導担当主幹 濱 田 昌 也 大 木 忠 厚

指導室長補佐 南 學 進

指導主事 鈴 木 篤

指導主事 林 達 樹

指導主事 中 尾 友 昭

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課主任 徳 永 昭 子

教育総務課主任 青 木 なつみ

## 議 事 日 程

### 第1 議事録署名員指名について

### 第2 会期決定について

### 第3 議 案

#### 第49号議案

令和5年度府中市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

#### 第50号議案

府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

#### 第51号議案

府中市図書館協議会委員の変更について

### 第4 報告・連絡

- (1) 給食展・試食会の開催について
- (2) 「市民文化の日」事業の実施について
- (3) 第30回府中市生涯学習フェスティバルの開催について
- (4) 府中市家庭教育学級の開催について
- (5) 郷土の森「曼珠沙華まつり」の開催について
- (6) 第14回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について
- (7) スポーツタウン府中推進月間の開催について
- (8) 歩いて知ろうわがまち府中！2023の開催について
- (9) 第27回みんなのスポーツdayの開催について
- (10) 子どもの読書月間の取組について
- (11) 図書館講演会「ネット情報におぼれない学び方」について
- (12) 企画展「インド細密画」の開催について

### 第5 その他

### 第6 教育長報告

### 第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（酒井 泰君） ただいまより、令和5年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の教育委員の議事録署名員は、平原委員にお願いいたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（酒井 泰君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、許可いたします。

◇

第49号議案 令和5年度府中市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

○教育長（酒井 泰君） 日程第3、第49号議案の審議に入ります。第49号議案は、「令和5年度府中市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について」ですが、日野委員への委嘱に関する内容が出てまいります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、日野委員は審議に参加することができませんので、恐れ入りますが、審議が終わるまでご退席をお願いします。

（日野委員退席）

○教育長（酒井 泰君） それでは、議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○給食センター副所長（桐生光章君） それでは、ただいま議題となりました第49号議案「令和5年度府中市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について」、ご説明いたします。恐れ入りますが、議案書の裏面をご覧ください。

府中市立学校給食センター運営審議会委員は、府中市立学校給食センター条例第4条及び同施行規則に基づき教育委員会が委嘱するものでございます。

本審議会は、教育委員会の諮問に応じて、給食センターの運営に関する事項を審議することとされています。

定員は18人以内となっており、今回は17名の候補者となっております。

任期は今年度末までで、給食費の公費負担及び給食センターの稼働状況、給食費の収納状況についてご報告をし、ご意見を賜りたいと考えております。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（増淵達夫君） 任期が10月1日から3月31日となっておりますが、条例上、任期は半年なのでしょうか。どのぐらいの任期なのか、期間を教えてください。

○給食センター副所長（桐生光章君） 任期でございますが、条例施行規則で任期は1年と定めております。

○委員（増淵達夫君） その中で、10月1日から3月31日という半年になっているのは何か事情があるのでしょうか。

○給食センター副所長（桐生光章君） 報告する案件が出たタイミングで委嘱をさせていただくことにより、時期が10月1日になってしまったものでございます。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りいたします。第49号議案「令和5年度府中市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。

審議が終わりましたので、日野委員に入室いただきます。

（日野委員入室）

○教育長（酒井 泰君） 日野委員にお伝えいたします。ただいまの第49号議案につきましては、原案どおり決定いたしましたのでお知らせいたします。



◎第50号議案 府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、第50号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（廣瀬真理子君） それでは、第50号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱について」、ご説明いたします。

府中市文化財保護審議会は、府中市文化財の保存及び活用に関する条例に基づき、教育委員会に設置する附属機関でございます。

委嘱を予定する委員の案につきましては、議案書裏面に記載のとおりでございます。

本審議会の所掌事務でございますが、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、その結果を答申することでございます。

任期は令和5年10月1日から令和7年9月30日までの2年間、委員定数は10人以内となっております。

文化財の指定・解除、また、保存・活用に関する専門的・技術的判断をしていただくことが職務であり、分野ごとの高度な専門的知識と長年の経験が必要なことから、8名の委員が再任となり、今回、2番目の郷土史・民俗部門の作家・イラストレーター、かぶらぎみなこ氏、3番目の郷土史部門、高安寺住職、菊地克之氏の2名の委員が新任となります。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（日野佳昭君） 委員の委嘱のことではないのですが、コロナ前は審議委員の先生方にご講演していただいたことを覚えております。歴史民俗学のこと、府中の歴史のこと、鎌倉街道等々、大変面白く聞かせてもらった記憶があります。コロナ禍を過ぎた段階で、来

年度、また講演していただける機会というのはあるのでしょうか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） 来年度は、ケヤキ並木が国の天然記念物指定100周年の年でございますので、100周年記念事業の中で、例えば植物の福嶋司先生にケヤキ並木の講演などをしていただく企画を検討しているところです。

また、市史編さん事業の中で、委員がおっしゃったように、これまで各分野の先生方に講演を行っていただいていますので、新しい委員さんも含めて、今後の講演について検討してまいりたいと考えております。

○教育長（酒井 泰君） よろしいでしょうか。

ほかにご意見等ございますでしょうか。

○委員（平原 保君） お願いということで申し上げます。日野委員のご質問にも関係するのですが、ここにいらっしゃる方々は非常にご造詣の深い方々です。小・中学生が府中市の郷土の歴史や文化を学ぶ際、または教員の研修等でこのような方々にご尽力いただける機会があるとありがたいと思っています。

私も何名かの方を存じ上げているのですが、非常に造詣が深いとともに分かりやすくお話をしてくださる方々ですので、ぜひ学校教育へのご貢献を頂ければありがたいと思っています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それではお諮りいたします。第50号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第51号議案 府中市図書館協議会委員の変更について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、第51号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○図書館長補佐（田口宏治君） ただいま議案となりました第51号議案「府中市図書館協議会委員の変更について」、ご説明いたします。議案書裏面をご覧ください。

府中市図書館協議会委員の委嘱につきましては、既に令和4年第6回教育委員会定例会にてご承認を頂いておりますが、学識経験者の委員1名より辞退の申出があり変更が生じました。任期は前任者の残任期間となります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かがご質問はございますか。

ほかにご意見はございますか。よろしいですか。

それではお諮りいたします。第51号議案「府中市図書館協議会委員の変更について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎給食展・試食会の開催について

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を学務保健課、お願いします。

○給食センター副所長（桐生光章君） それでは、給食センターから「給食展・試食会の開催について」、資料1に基づきご報告いたします。

令和元年度以来実施できていなかった給食展・試食会を4年ぶりに実施いたします。

日時は令和5年10月28日土曜日、午前10時から午後3時まで。なお、荒天の場合は中止いたします。給食展・試食会は、学校給食センターで提供している安全・安心でおいしい給食について、より多くの保護者や市民の方に試食や見学をしていただくことで、学校給食についての理解を広め、食育への興味や関心を深めていただくため実施をするものでございます。

主な内容は給食の試食のほか、食物アレルギーの対応紹介と試食、また、給食で提供している食材の販売など、多くの方に給食センターの取組を知っていただき、更なる食育の推進を図る内容となっております。詳細はチラシのとおりでございますが、今回の試食会の献立は、府中産食材にこだわり、全ての献立に府中産の食材を使ったものを提供する予定でございます。費用は1食200円で、各80食、合計320食分をご用意いたします。

なお、当日の混雑を緩和するため、事前申込み制とし、電子申込みと往復はがきの申込みを併用いたします。ぜひともご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。以上です。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（日野佳昭君） 給食展・試食会のことではないのですが、スーパーマーケットでは、地場産野菜に生産者の顔写真がある食品というのをよく見ます。子供たちの給食に対しての説明で、府中の生産者を紹介するような、あるいは「今日の食事のこの大根はこの方が作った大根ですよ」など、そういったことも食育にとっても大事なことだと思います。個人情報のこともありますので、全部出せばいいという話でもないかもしれませんが、そのような試みをしたことはあるのでしょうか。あるいは、今後そのような予定はありますでしょうか。

○給食センター所長（谷本耕一君） 生産者の顔写真ですとか、紹介については、今まで特に取り組んだことはありませんので、今日ご意見いただいたことを持ち帰りまして、前向きに検討していきたいと考えております。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎「市民文化の日」事業の実施について

◎第30回府中市生涯学習フェスティバルの開催について

◎府中市家庭教育学級の開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（2）から（4）を一括して文化生涯学習課、お願いします。

○文化生涯学習課長補佐（斎藤麻美君） それでは、資料2から4に基づきまして、一括し

てご報告いたします。

初めに、資料2に基づき、「市民文化の日」事業の実施につきましてご報告いたします。

本市では、市民の皆様が文化芸術に親しみやすい環境づくりを進めることを目的に、10月の第2日曜日を「市民文化の日」としており、今年は10月8日日曜日に市内9つの文化施設において事業を実施いたします。

今年度は、郷土の森博物館では当日の入場料を、美術館では10月7日から9日までの企画展、常設展の観覧料を無料にするほか、生涯学習センターでは、この日に合わせて第30回府中市生涯学習フェスティバルを開催いたします。

また、各施設に掲示されたキーワードを期間中に3つ以上集めた方に、オリジナルグッズをプレゼントするキーワードラリーを行いまして、各施設を巡回するきっかけとして企画をさせていただきます。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。

「市民文化の日」事業につきましては以上でございます。

続きまして、資料3に基づき、第30回生涯学習フェスティバルの実施につきましてご報告いたします。

生涯学習への理解を深めるため、生涯学習センターにおきましては、毎年生涯学習フェスティバルを開催しております。

今年度は、第30回という節目に当たり、先ほどご報告いたしました市民文化の日である10月8日及び翌9日の2日間にわたり、作品展や市民発表会、ワークショップ、体育室イベントなど、市民の皆様が楽しみながら学びと出会うことのできる様々な催しを実施いたします。また、9日には、記念講座といたしまして、スタディサプリ講師の伊藤賀一氏と、テレビドラマ「ドラゴン桜」を監修され、本市在住の西岡壱誠氏による講演会「『伊能忠敬から見る』～生涯、学び続けるための三箇条～」を予定しております。

2点目につきましては以上でございます。

最後に、資料4に基づき、令和5年度府中市家庭教育学級の開催につきましてご報告いたします。

本市では、全ての教育の出発点である家庭教育を支援することを目的といたしまして、保護者の方などを対象とした学習機会の提供を行っております。

今回は11月22日水曜日に、生涯学習センターの講堂におきまして、花まる学習会代表の高濱正伸氏を講師に迎え、「目からウロコ！『親だからできること～子育ての落とし穴～』」と題して講演会を開催いたしますのでお知らせいたします。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（2）から（4）について了承いたします。



◎郷土の森「曼珠沙華まつり」の開催について

◎第14回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（5）と（6）を一括してふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（廣瀬真理子君） それでは、ふるさと文化財課より、資料5及



び資料6についてご報告いたします。

まず、資料5は、郷土の森博物館「曼珠沙華まつり」の開催についてでございます。

郷土の森博物館において、今年初めて、9月9日土曜日から10月1日日曜日まで、「曼珠沙華まつり」を開催いたします。

かつて多摩川近くの水田の土手や用水路の傍らにたくさん咲いていた、ヒガンバナと呼ばれる曼珠沙華の昔懐かしい風景を再現しようと、郷土の森博物館では地道に球根を植え続け、その数、三十五万株までになりました。期間中には曼珠沙華のスタンプを使ったイベントなどを実施する予定となっております。秋の風景をお楽しみいただきたくご案内申しあげます。

続きまして、資料6、「第14回武蔵府中熊野神社古墳まつり開催について」でございます。

古墳まつりは、昨年ライトアップのみ実施しましたが、本格的な開催は平成30年を最後に中止となっていましたので、5年ぶりの開催となります。

開催日程は、古墳のライトアップの点灯式を10月1日日曜日に行い、8日日曜日までの午後5時半から午後9時まででございます。また、各イベントにつきましては、10月8日日曜日の午後1時から午後8時まで、チラシのとおり実施いたします。

委員の皆様におかれましては、ぜひご来場いただきますようご案内いたします。以上です。

**○教育長（酒井 泰君）** 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（5）と（6）について了承いたします。



◎スポーツタウン府中推進月間の開催について

◎歩いて知ろうわがまち府中！2023の開催について

◎第27回みんなのスポーツdayの開催について

**○教育長（酒井 泰君）** 続きまして、報告・連絡（7）から（9）を一括してスポーツタウン推進課、お願いします。

**○スポーツタウン推進課長補佐（塚本 淳君）** それでは、スポーツタウン推進課より、お手元の資料7から9に基づきまして、3件一括してご報告いたします。

初めに、「スポーツタウン府中推進月間の開催について」でございますが、スポーツタウン府中の発展に向けた各種取組を広く市民に周知するとともに、市民がスポーツに親しむきっかけづくりやスポーツの実施率の増加、向上を図ることを目的として、スポーツの日を始め、多くのスポーツイベント等の開催がある10月を、今年度よりスポーツタウン府中推進月間と位置付け、関連イベントを実施するものでございます。

開催期間は10月1日日曜日から31日火曜日までの1か月間でございます。実施内容といたしましては、スポーツタウン府中の啓発チラシを作成し、市内の小・中学校へ配布等させていただくほか、10月に開催されるスポーツイベントを対象としたスタンプラリーを実施するものでございます。スタンプラリーの対象となるイベントは資料に記載のとおりでございますが、見るスポーツイベントやするスポーツイベントだけでなく、パネル展などの開催を通じてスポーツを知る視点を加えた形としております。

続きまして、資料8、歩いて知ろうわがまち府中！2023の開催につきましてご報告いたします。

本事業は、例年、1日開催のウォーキングイベントを基本としてこれまで開催してまいりましたが、今年度は実施内容を見直し、10月の1か月間を開催期間とするスタンプラリー形式のイベントと、例年よりもコースを絞って簡素化した形の1日開催のウォーキング大会を組み合わせた形で実施いたします。まず、スタンプラリーにつきましては、3つのモデルコースを参考に、参加者が市内の5つのチェックポイントを自由に巡るものとなっております。

また、1日開催の1DAYイベントでございますが、コースは2つのコースを設定しております。約13キロのコースは、東京2020大会に関連する施設やレガシー銘板をはじめとする見どころポイントを歩いて楽しめるコースとなっております。また、5キロコースは、観光ボランティアと共に観光ガイドを受けながらウォーキングできるコースとなっております。

この事業をきっかけに府中の魅力あるスポットを再発見していただくとともに、参加者の健康増進や日々のスポーツ活動につながることを期待して実施するものでございます。

最後に、資料9、第27回みんなのスポーツdayについてでございますが、多くの市民がスポーツに親しむきっかけとなるよう、10月9日のスポーツの日に各地域体育館を無料開放し、みんなのスポーツdayを開催いたします。

資料の裏面の記載のとおり、各地域体育館では各種ニュースポーツやボッチャの体験コーナーを設置するほか、特別企画として関係団体のご協力の下、ダンスや新体操などの演技を披露していただく予定となっております。

このみんなのスポーツdayは、スポーツ推進委員と各地域体育館の運営協議会委員との協働により企画運営しており、体育館ごとにそれぞれ特色ある内容となっておりますので、委員の皆様にもこの機会にお近くの会場まで足を運んでいただきたくご案内申し上げます。

なお、ただいま一括して報告いたしました3件につきましては、事業案内のチラシなどを今後各小・中学校に配布する予定でございます。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（7）から（9）について了承いたします。



◎子どもの読書月間の取組について

◎図書館講演会「ネット情報におぼれない学び方」について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（10）と（11）を一括して図書館、お願いします。

○図書館長補佐（田口宏治君） それでは、図書館から資料10と11を一括してご報告いたします。

初めに、資料10をご覧ください。

本市では、第4期府中市子ども読書活動推進計画におきまして、10月を子供の読書月間と定め、様々な事業を行っており、その取組についてご報告をいたします。

1枚目のA4判の資料、「みんなに読書のよろこびを」をご覧ください。

こちらは、教育委員の皆様にはカラー印刷したものを、そのほかの皆様には白黒印刷した

ものをお配りしております。

本市では、子ども読書活動推進計画の目標の1つである子供と本の出会いの機会の提供の中で、障害のある子供の読書活動について推進しております。その取組の1つとして、布の絵本や触る絵本などの整備、活用を図っており、毎年10月に資料の展示をしております。

2枚目のA5判のチラシをご覧ください。

昨年度に引き続き、展示場所は心身障害者福祉センター「きずな」で、展示期間は10月2日月曜日から31日火曜日まで、時間は記載のとおりでございます。

図書館ボランティアが手づくりした布の絵本や様々な素材を触って楽しめるさわる絵本、やさしい言葉や短い文章で書かれているLLブックを合計10点程度展示するとともに、他にどのような布の絵本やさわる絵本などがあるのか、利用者の方にご覧いただけるように目録を配布いたします。展示本はいずれも、通常の活字による読書が困難な子供でも親しみやすく、障害の有無にかかわらずどなたでもご利用いただけるものですので、多くの方に手に取っていただければと考えております。

続きまして、ピンク色のチラシ、「絵本だいすきおはなしキャラバン」をご覧ください。

市内のおはなしボランティアグループ「絵本だいすき」が、1・2歳児と保護者を対象におはなし会を開催いたします。10月、11月の2か月にわたり、資料に記載のとおり、子ども家庭支援センター「たちち」など、図書館以外の6会場において、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべ歌を行います。

周知につきましては、9月15日号の広報ふちゅう及び図書館ホームページへの掲載などにより、随時行ってまいります。

続きまして、サーモン色のチラシ、「小学生のためのブックトーク よむよむ探検隊」をご覧ください。

中央図書館では小学4年生から6年生を対象に、毎回違うテーマで集めた本を紹介するブックトークを開催しております。日時は市民文化の日当日の10月8日日曜日の午後3時から3時45分まで、中央図書館3階、児童室内おはなしのへやで開催いたします。今回は、「とり大集合！」をテーマに様々な本を紹介いたします。

周知につきましては、9月15日号の広報ふちゅう及び図書館ホームページへの掲載、市立小学校へのチラシの配布など、随時行ってまいります。なお、今後につきましては、2月24日土曜日に開催を予定しております。

続きまして、資料11の図書館講演会「ネット情報におぼれない学び方」のチラシをご覧ください。

この講演会は小学校4年生以上から大人の方を対象として、情報リテラシーをテーマに、中央大学職員、都留文科大非常勤講師の梅澤貴典氏を講師に招き開催するものでございます。日時は9月24日日曜日、午後2時から、会場はルミエール府中1階、第1・第2会議室でございます。

子供のインターネット活用については、昨今の社会環境の中でも関心を持たれているところですので、児童・生徒だけでなく、保護者、先生方にも広くご参加いただきたく、市内小・中学校へポスターを既に配布しているほか、来週開催されます9月の校長会でご案内をさせていただきます。

報告は以上でございます。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見はございますか。

○委員（日野佳昭君） 美術館に関する報告も含め、全体のことで、毎年、秋にたくさんの方の企画を府中市民のために企画していただいていることに、大変感謝しております。文化生涯学習課、ふるさと文化財課、スポーツタウン推進課、図書館、美術館の皆様にご挨拶を申し上げます。ありがとうございます。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（10）と（11）について了承いたします。



#### ◎企画展「インド細密画」の開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（12）を美術館、お願いします。

○美術館副館長補佐（大木忠厚君） それでは、美術館から別紙資料12に基づき、次回展覧会についてご報告をいたします。

府中市美術館では、9月16日土曜日から11月26日日曜日まで、企画展「インド細密画」を開催します。観覧料などは記載のとおりですが、市内小・中学生は、学びのパスポートの提示により無料で観覧することができます。

この展覧会では、日本ではあまり紹介される機会がなかったインドの伝統的な絵画を紹介します。インドでは絵は1対1で対話するように味わうものと考えられてきました。そして、両手に収まるような小さな画面に神話の神々や宮廷の生活の様子を鮮やかな色彩で細やかに描いた作品が作られてきました。今回はそうしたインドの細密画120点余りをご覧いただきます。

なお、会期中、常設展示室では、府中市美術館の所蔵作品を紹介しております。また、公開制作室では、画家、今井俊介氏による絵画制作の様子をご覧いただけます。ぜひご覧いただけますようご案内申し上げます。以上でございます。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

○委員（増淵達夫君） このチラシを見せていただいたときにとても興味深く、インドの細密画というのはこういうものかと思いました。ここに至るまで様々な交渉などがあったと思うのですが、どういう趣旨でこの展覧会を企画されたのか、その辺りの背景を教えてください。できればと思います。

○美術館副館長（鎌田 享君） ただいまご質問がありました企画の趣旨についてお話しいたします。

府中市美術館ではこれまで、府中市を始めとする日本の美術と、ヨーロッパの美術、大きく分けて2つの地域の美術を紹介してきました。日本の多くの美術館においても同様の企画が見られると思います。しかし、世界は何もヨーロッパと日本だけではなく、それ以外の地域にも様々な土地や文化があります。そうしたものを広げていくことが、日本の美術館、そして府中市の美術館の1つの大きな役割ではないかということの日頃から考えておりました。

今回のこのインド細密画展についてですが、京都にお住まいの日本画家かつインドの美術の研究者である方で、日本でも有数のインドの細密画のコレクションを所蔵している方と、非常に幸運といえますか、たまたま、つながりができました。その方とのつながりの関係で、

新聞社等の協力も受けまして、この展覧会実施に至った次第です。なかなかインドの作品と  
いっても、題材からしてなじみがないところですが、そうした部分を含めて、初めてのイン  
ド美術という観点で親しみやすく紹介していければと思っております。

○委員（増淵達夫君） ありがとうございます。本当に貴重な機会だと思うので、ぜひ私  
も伺いたいと思いますし、多くの方が見ていただければということを楽しんでいます。あり  
がとうございました。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（12）について了承いたします。



◎その他

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第5、その他ですが、何かございますか。よろ  
しゅうございますか。



◎教育長報告

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況につい  
ては、別紙の「令和5年9回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでござい  
ます。なお、この報告書は令和5年8月12日から令和5年9月1日までの活動内容となつてお  
ります。

私から3点お話をしたいと思います。

まず第1点ですが、報告書にもございますように、夏季休業も終わりに近づく8月26日、  
府中市美術館の企画展「ばれたんサマー むら田もいっしょ！」を参観させていただきました。  
小さな子供を中心に家族連れで来場されている方が多く、体験型の展示に子供たちは楽  
しいひとときを過ごしているようでした。

様々な工夫を凝らした企画に、絵画の世界の入り口に子供たちが知らず知らずにいざな  
われているようで、毎年この企画は学芸員の方々の知恵と経験が生かされた素晴らしい内容  
であると毎回感心しているところです。我が子が楽しむ様子に笑顔で応える保護者や祖父母  
の様子がとても印象的でした。来年度もこの企画に期待しています。

2点目ですが、翌日の8月27日日曜日に、府中市民大会の夏季水泳大会に参加いたしま  
した。

郷土の森総合プールで、小・中学生を始めとする多くの市民が参加する大会でした。天候  
にも恵まれ、多くの保護者の方々の応援もあり、選手たちは張り切って泳いでいました。関  
係の皆様への大会運営に当たっての協力を感謝申し上げます。

最後ですが、8月29日火曜日から市立の小・中学校33校全てで2学期が始まりました。  
2学期が一番長い学期で、季節も夏から冬まで大きく変化します。児童・生徒、そして教職  
員が元気で充実した学校生活を送れるように、教育委員会事務局といたしましては、必要  
な支援を滞りなく行っていきたく思っております。

私からご報告をさせていただきます。府中市の学校給食費無償化を求める市民の会より、  
小中学校給食費無償化を求める請願署名の提出がございましたことをご報告いたします。教  
育委員の皆様へ情報提供させていただきます。

◇

◎教育委員報告

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については、別紙のとおりでございます。

まず、日野委員、お願いいたします。

○委員（日野佳昭君） 8月26日、27日、府中市青少年音楽祭を鑑賞しました。力強い太鼓と心躍る吹奏楽、4年ぶりにマスクのない合唱は格別で感動しました。最後に出演した府中市中学校連合同唱団は4年ぶりに再開されたそうです。府中市の中学生が舞台にあふれんばかりに集まり、他校の仲間たちと一同になった皆さんの歌声は素晴らしいものでした。

コロナ感染は徐々に拡大しており、近隣の基幹病院はコロナ患者さんなどでほぼ満床です。電話もつながらず、診療所からの紹介もなかなか受け入れていただけない状況です。9月になり、小学校、保育園、幼稚園への感染が拡大の兆しを見せております。重症の患者さんは少ないですが、学級閉鎖も増えてくると思います。また、A型のインフルエンザの患者さんも散見されています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、平原委員、お願いします。

○委員（平原 保君） 夏休み中に、小学校全校の日光林間学校が2泊3日の行程で実施されました。各校の学校だよりには、児童が楽しく充実した体験活動をする様子や、宿泊体験を通して成長した児童の姿が紹介されています。2学期には5年生のわくわく自然教室や中学校の修学旅行などが計画されていますが、今年も無事に実施されることを祈念しております。

先日、7月末に、文部科学省が4月に実施した全国学力調査の結果が公表されました。その結果から私が着目した児童・生徒質問紙の項目について報告させていただきます。

はじめに、「先生がよいところを認めてくれる」という質問に肯定的な回答をした児童・生徒は、「自分にはよいところがあると思う」の質問に高い割合で肯定的な回答をしています。また、「授業では課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた」という質問に肯定的な回答をした児童・生徒は、やはり「自分にはよいところがある」という質問に対しても高い割合で肯定的な回答をしています。

このようなクロス集計の結果から、児童・生徒が自己有用感や自己肯定感を高めるための授業の在り方が見えてくるように思います。

次に、ICTの活用を図る有効な取組に関する学校の回答から、教員がコンピューターなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会が設けられている学校の方が、ICT機器の活用が進んでいる傾向が見られるとの報告があります。

先日、夏休みの7月25日に教育センターにて、市立小・中学校の先生方を対象としたICT活用の研修会が行われていました。私はその研修の後半部分を参観させていただきました。講師も市内中学校の先生が務めており、ICTを活用して授業改善につながる実践的な内容の研修で、受講生の先生方が熱心に取り組まれました。

こうして府中市では教育センターを始め、各校における研修機会を設定することにより、児童・生徒が学習の中でICTを活用する授業づくりが進められていることを捉えることができました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、増淵委員、お願いします。

○委員（増淵達夫君） 私は、8月27日に青少年音楽祭合唱の部を鑑賞させていただきました。9団体が出場して、そのうち学校単位の出場は白糸台小学校、都立府中西高校、府中第二中学校、それから府中第三小学校、本宿小学校、府中第四中学校という順番でした。どの団体も出演した子供たちが楽しそうに演奏していたということがとても印象的でした。また、音の出だしの合わせ方やクレッシェンドやディミヌエンドなどの表現、明瞭な発音などは、指導者の先生方が非常に丁寧に指導されているということがよく分かりました。

このことから象徴されると思うのですが、府中の学校における合唱文化、これは非常に誇るべき文化だということを感じました。ここまでつくり上げるには、熱心で指導力のある先生方と学校全体の理解が不可欠だと思いますし、長い年月をかけてつくってきたものであることは間違いないと思います。ですので、一旦これが途切れてしまったら再生は非常に困難だろうということも感じました。

文化部・運動部共に、部活動の在り方について現在議論されていますが、どのような形になるにしても、中学生や高校生が文化やスポーツを生涯にわたって愛好するとともに、努力することの大切さや、仲間と共に目標に向かって取り組むことの意義を体験的に学べる、そういった意味で部活動の教育的な意義というのは非常に強いものがあるということを感じました。部活動の地域移行ということも様々議論されていて、どういう形になるか分かりませんが、この部活動の意義については、ぜひ大切にしていきたいと思いました。

それから、活動報告書にはありませんが、9月1日に府中第四中学校を訪問する機会がありました。これは私が勤務する大学の学生と、毎年この時期に中学校と高校に訪問させていただき、特に府中市内の中学校にご協力いただいているもので、今年は府中第四中学校に行きました。

授業は社会科の授業と音楽の授業を見せていただきました。社会科の授業では、まず先生の講義があり、そこで「なぜオーストラリアでは日本語を学ぶ人が多いのか」という問題提起がありました。それから、キウイのコマーシャルを映像で流し、その後子供たちが教科書の内容を見ながらグループワークをして、討論し、タブレットにまとめてという流れでした。子供たちが先生の問いを踏まえて考えながら、オセアニア州のことについての知識の定着を図っていく、そういった授業だったと思います。少し前までは、オセアニアはこういう特徴なのだという知識を覚え込ませるようなところがあったかと思うのですが、課題を考えさせることを通して知識の定着を図っていくような、そんな授業でした。タブレットも上手に使いながら取り組んでいたことがとても印象的でした。

それから、音楽の授業では、先ほど申しあげた音楽祭でも四中の合唱を聞きましたので、合唱部と授業はどう違うのかなと思って見ていたところ、休み時間に生徒たちが歌っているのですよね。歌いながら教室に行ったり、口ずさんでいて、この学校では合唱が子供たちの中に文化として定着しているのだなということを感じました。

50分の授業の中で、最初に先生の指示があり、それから男声パートと女声パートに分かれて、その中でもさらに3部ぐらいに分かれながら、リーダーが課題に向かって練習をして、最後にまとめるという形でした。先生の指示が非常に的確に浸透していて、子供たちも何を次にやればいいのか、自分たちの課題は何なのかということをよく自覚できている、そうい

った授業だったと思います。生徒たちは達成感を持って授業に取り組めたのではないかと思います。

授業が終わり、やはり歌いながら帰ろうとしている生徒たちに、合唱部が90人もいるので、合唱部かどうか聞いてみたところ、「素人です」と言われました。合唱部でない子たちは自分たちのことを「素人です」と言っていたのです。とてもよい形で合唱文化が広がっていると感じました。

その後、部活動の様子も見せていただく中で、野球部が単独では成立しないのだということを経理先生から伺いました。野球のユニフォームを着ている生徒がいたので、どのように練習しているのかと思ったのですが、1、2人の生徒が、顧問の先生とキャッチボールをしたり、サッカー部の子たちが練習をしている周りでグラウンド整備をしたりしていました。要は、部員が1、2人なので、野球部としての練習は十分できないけれども、できることを探しながら、またグラウンド整備など他の部のためのことを探しながら取り組んでいました。その姿を見て、またこのような先生方の指導に非常に感銘を受けました。

学校の日常的な取組を見ることができましたし、私もそうですが、見に行った学生たちは、教職のすばらしさや、先生方が生徒とどのようにコミュニケーションを取っているのかなど、様々なことを学ぶことができました。深く感謝したいと思っています。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、山下委員、お願いします。

○委員（山下和則君） 私は8月24日に、東京都市町村教育委員会第2回常任理事会・理事会・理事研修会に出席してまいりました。当日は会長が体調不良による欠席のため、私が代理で議事進行を行いました。酒井教育長の進行を参考として、緊張しながらも無事に滞りなく議題を終えることができました。

その後の研修会は、東京都多摩教育事務所指導課長の吉成嘉彦様を講師として、「『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実』と教員に求められる資質・能力」をテーマに行われました。教員の人材教育と管理職の資質についての内容で、理想と現実がなかなか追いつかない現状などを教えていただきました。

8月は猛暑続きで、私も現場で作業をするのですが、作業に集中しすぎると体のダメージに気づかずに、一作業を終えるとかなり危険な状態になったりします。小まめな水分補給や休憩が、この夏は特に必要だと感じました。

子供たちも新学期を迎えて、元気に登下校している姿を見かけますが、まだ猛暑が続いていますので、熱中症対策等しっかりと行い、楽しい学校生活を送ってもらえればと思います。

以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。それでは、これで 令和5年 第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

◇  
午後3時49分閉会



以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

令和5年12月26日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

平原 保